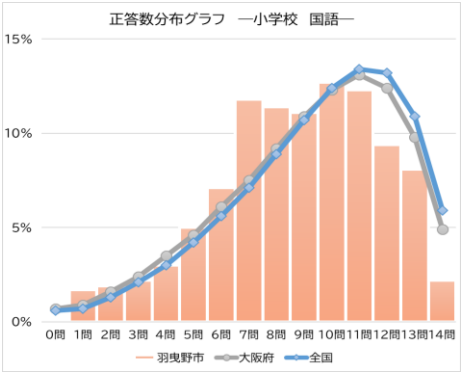
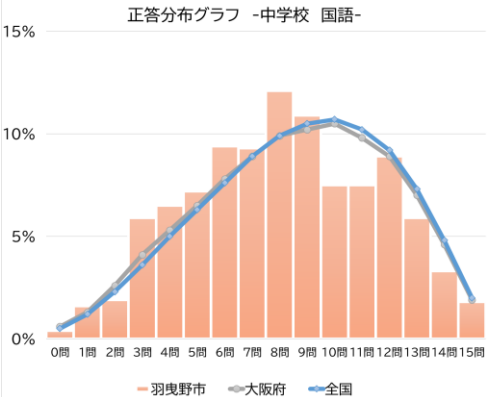


令和6年度	【実施期間】 令和6年4月18日(火)	【実施内容】 ◎ 教科に関する調査 小:国語・算数 中:国語・数学 ◎ 質問紙調査 ※原則すべての児童生徒を対象に、オンライン方式により実施	【調査目的】 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育政策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
全国学力・学習状況調査結果概要	【実施校数・実施児童生徒数】 小学校13校 中学校5校 義務教育学校1校 小・義6年生 779名 中3義9年生735名		

各教科の状況

○今回お知らせする結果は、学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

小学校国語

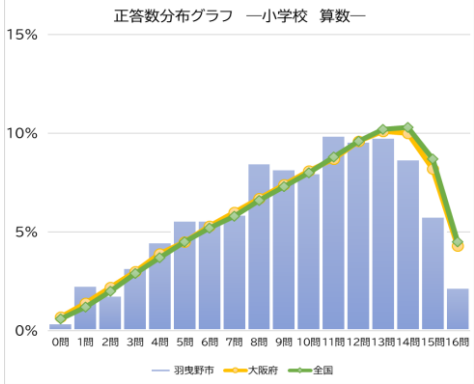
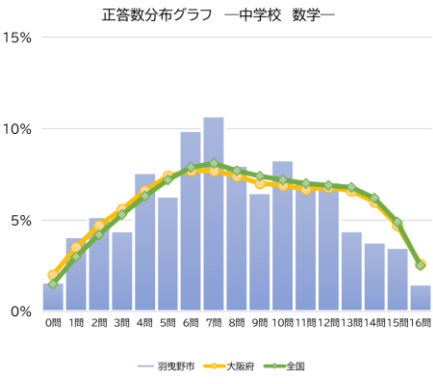
小学校国語	学習指導要領の内容		平均正答率(%)			
			羽曳野市	大阪府	全国	
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	59.9	63.4	64.4	
		情報の扱い方に関する事項	83.5	85.5	86.9	
		我が国の言語文化に関する事項	68.6	72.6	74.6	
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	54.8	57.3	59.8	
		書くこと	60.3	65.9	68.4	
		読むこと	66.6	69	70.7	
中学校国語	学習指導要領の内容		平均正答率(%)			
			羽曳野市	大阪府	全国	
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	56.1	59.1	59.2	
		情報の扱い方に関する事項	55.7	59.4	59.6	
		我が国の言語文化に関する事項	74.8	75.8	75.6	
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	54.2	56.4	58.8	
		書くこと	58.3	63.3	65.3	
		読むこと	45.0	47.2	47.9	

○情報の扱い方に関する事項では、図などによる語句と語句との関係(イメージマップの書き表し方)を理解できていました。

●「書くこと」では、目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がありました。

●「話すこと・聞くこと」では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるような表現の工夫について読み取ることに課題がありました。

小学校算数

小学校算数	学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)			
			羽曳野市	大阪府	全国	
	領域	数と計算	61.9	65.3	66	
		図形	63.2	65.2	66.3	
		変化と関係	45.9	50.9	51.7	
		データの活用	58.6	60.9	61.8	
	評価の観点	知識・技能	69.2	71.9	72.8	
		思考・判断・表現	47.1	50.5	51.4	
中学校数学	学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)			
			羽曳野市	大阪府	全国	
	領域	数と計算	48.6	50.4	51.1	
		図形	35.5	40.5	40.3	
		変化と関係	57.6	58.9	60.7	
		データの活用	50	53.3	55.5	
	評価の観点	知識・技能	60.1	61.9	63.1	
		思考・判断・表現	23.6	28.2	29.3	

○数量の関係を、□を用いた式に表すことができていました。

○直方体の見取図、円グラフの特徴など理解することができていました。

●球がぴったりと入る立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がありました。

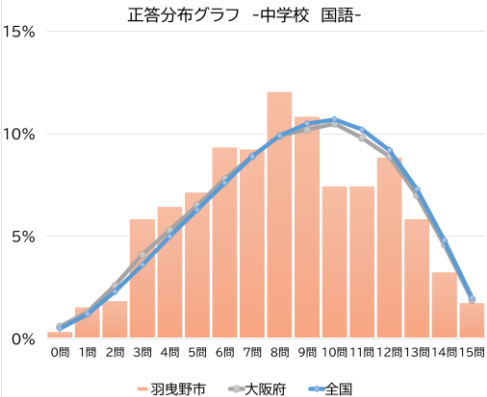
●家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書くことに課題がありました。

無解答率				
小学校	羽曳野市	大阪府	全国	対全国差
国語	3.9	4.3	4.2	0.3
算数	3.2	3.4	3.4	0.2
中学校	羽曳野市	大阪府	全国	対全国差
国語	4.2	4.2	3.9	▲0.3
数学	12.5	12.6	11.3	▲1.2

各教科の無解答率の平均では、小学校では国語・算数ともに粘り強く取り組むことができていました。

中学校では、前年度より全国的に無解答率が高くなっていました。特に数学的な表現を用いて記述する問題では、無解答率が高くなっていました。

中学校国語

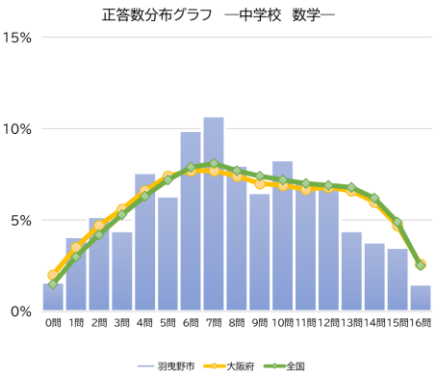
中学校国語	学習指導要領の内容		平均正答率(%)			
			羽曳野市	大阪府	全国	
	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	56.1	59.1	59.2	
		情報の扱い方に関する事項	55.7	59.4	59.6	
		我が国の言語文化に関する事項	74.8	75.8	75.6	
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	54.2	56.4	58.8	
		書くこと	58.3	63.3	65.3	
		読むこと	45.0	47.2	47.9	

○行書の特徴について理解できていました。

○目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることが比較的できていました。

●「思考・判断・表現力等」では、目的に応じて必要な情報に着目して要約することや話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることに課題がありました。

中学校数学

中学校数学	学習指導要領の領域および評価の観点		平均正答率(%)			
			羽曳野市	大阪府	全国	
	領域	数と計算	48.6	50.4	51.1	
		図形	35.5	40.5	40.3	
		変化と関係	57.6	58.9	60.7	
		データの活用	50	53.3	55.5	
	評価の観点	知識・技能	60.1	61.9	63.1	
		思考・判断・表現	23.6	28.2	29.3	

○正の数と負の数の加法の計算ができていました。

○二つのグラフにおけるy軸との交点や、グラフの傾きの意味を事象に即して解釈することができていました。

●箱ひげ図で示された複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がありました。

●1次関数を用いて、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がありました。

学力調査結果より

今年度の各教科の全体の平均正答率は小学校・中学校ともに、全国平均を下回りました。

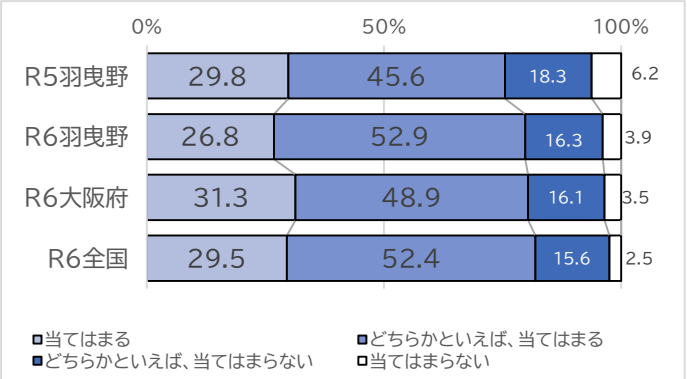
「自分の考えをわかりやすく伝わるように表現する力」の育成を市全体の重点として各校で取組みを進めています。小学校中学校ともに教科や領域に関係なく、複数の資料から必要な情報を読み取ること・読み取ったことを言葉や図などを使って条件に合わせて書くことに加え、子ども同士が、考えを交流したり、発表したりする授業を計画的に行っていきます。

※ 資料内の表記において、「小学校」は義務教育学校前期課程、「中学校」は義務教育学校後期課程を含みます。

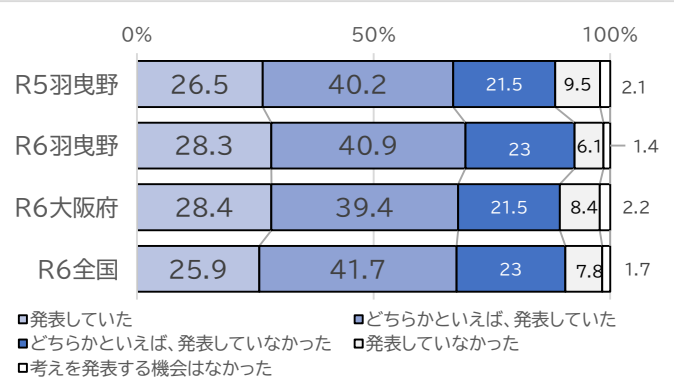
全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の結果から

5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

小学校

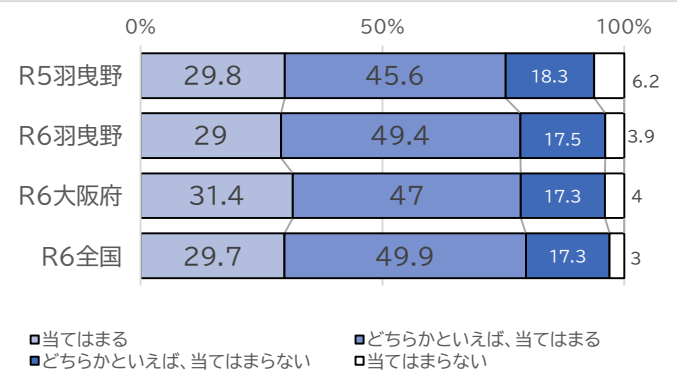


5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。



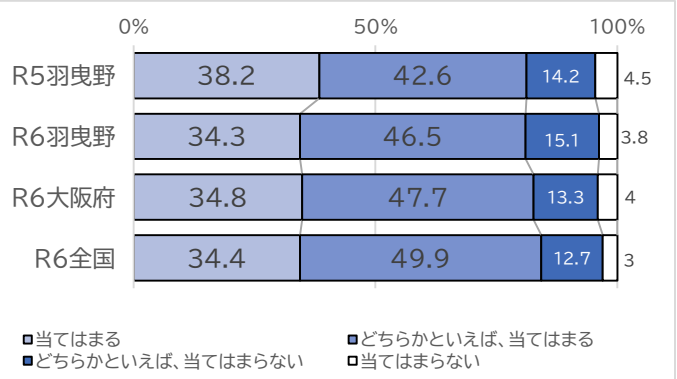
～学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組み状況～

5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

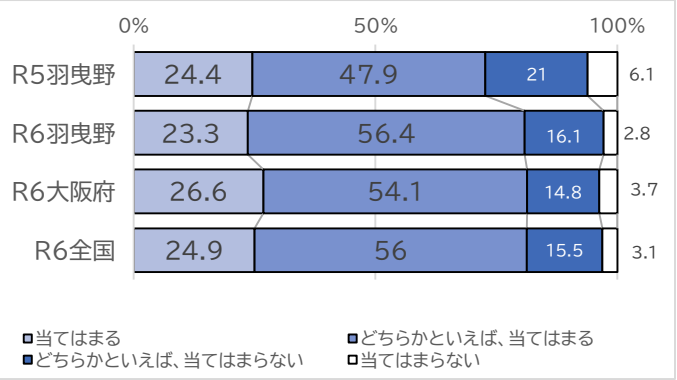
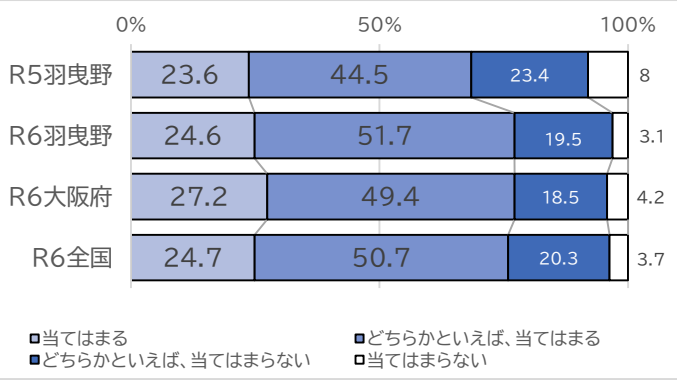
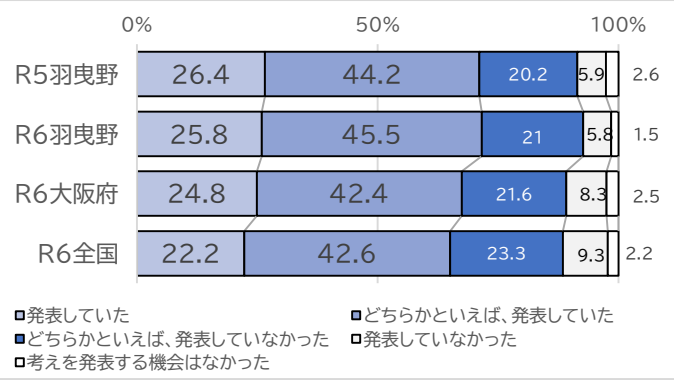
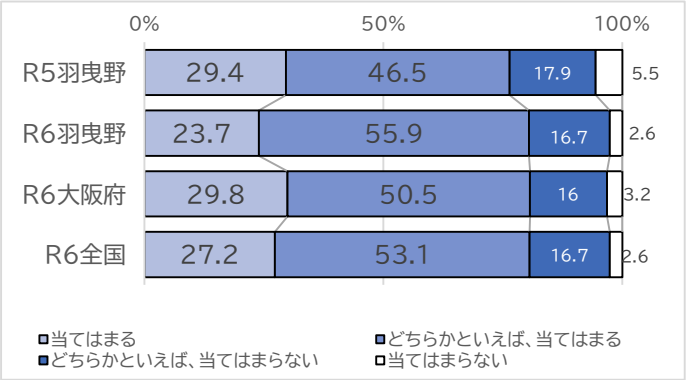


※「肯定的に回答している児童生徒の割合」とは、各質問で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等と回答した児童生徒の割合の合計を表したものです。

5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか。



中学校



自分で考え、自分から取り組むことができていると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)が増加しています。

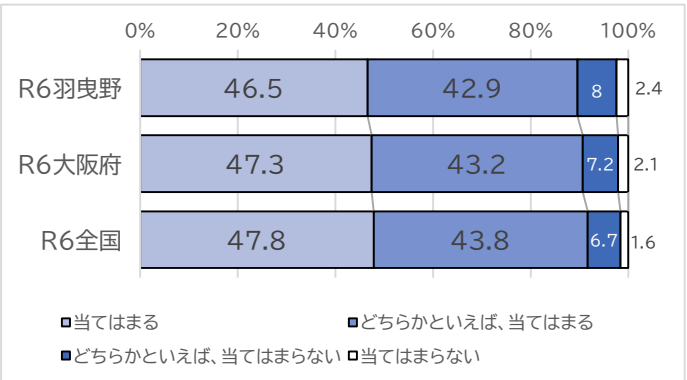
自分の考えを工夫して発表していると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)は増加しており、全国・大阪府の割合を上回っています。

自分の考えをまとめる活動を行っている児童生徒の割合(※)が増加しています。

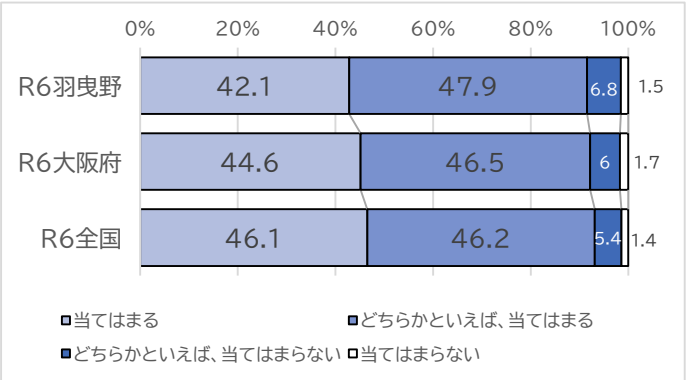
自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)は8割程度となっています。

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

小学校



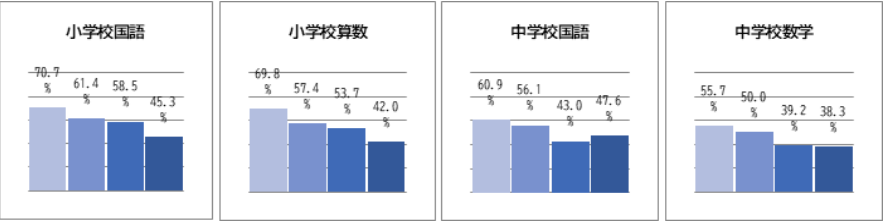
中学校



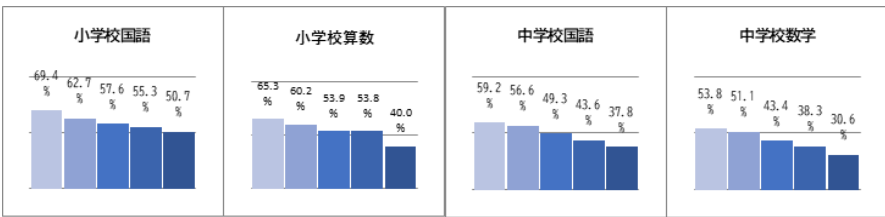
友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組むことができていると肯定的に回答している児童生徒の割合(※)は9割程度となっています。

学力調査と質問紙調査の関係 ～クロス集計から見てくる傾向～

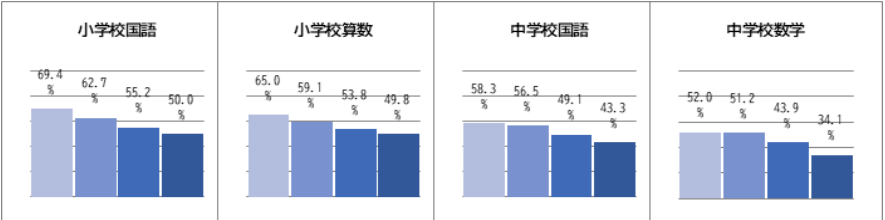
5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。



5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

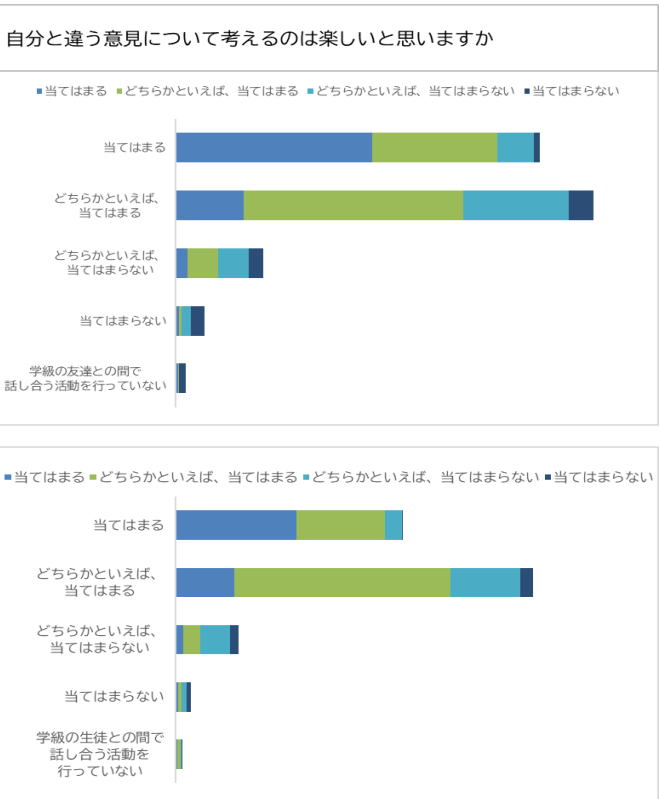


5年生まで[1, 2年生のとき]に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。

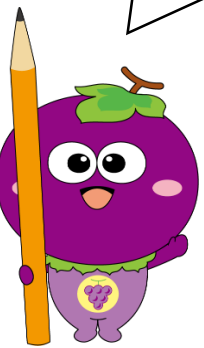


※縦軸: 正答率 横軸: 回答項目(左から肯定的な回答)

え 学 方 級 の 友 達 と の 間 で 話 し 合 う 活 動 を 通 じ て 、 自 分 の 考 え を 深 め た り 、 新 た な 考 え



各教科や総合的な学習の時間の中で、言語活動(話し合い活動や自分の考えを整理することなど)の時間を大切にしています。



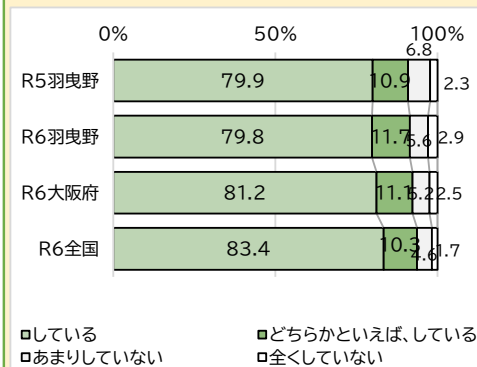
課題の解決に向けて自分から取り組んだり、授業で工夫して発表したり、自分の考えをまとめる活動をしている児童生徒ほど、各教科の正答率が高い傾向がありました。また、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いている児童生徒ほど、自分と違う意見について考えるのは楽しいと回答しており、各教科の正答率が高い傾向がありました。



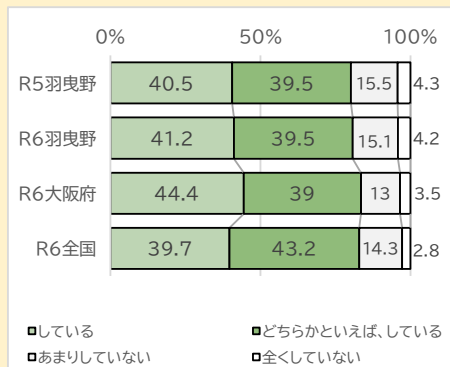
# 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の結果から

## 生活習慣

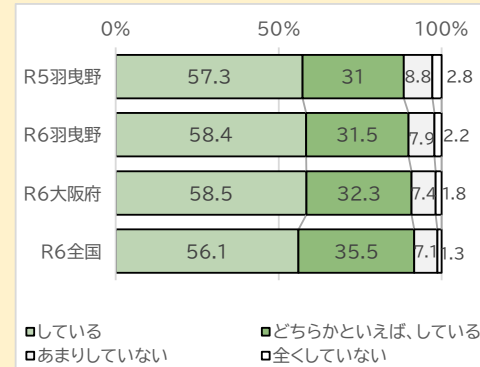
朝食を毎日食べていますか。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

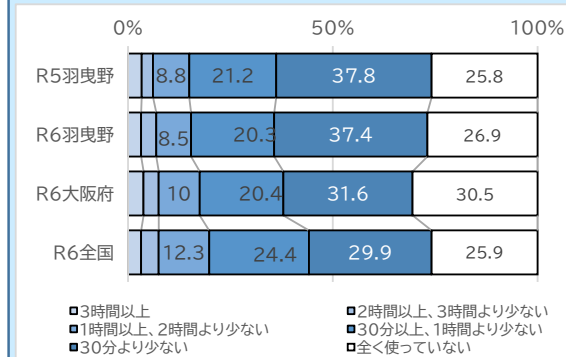


小学校

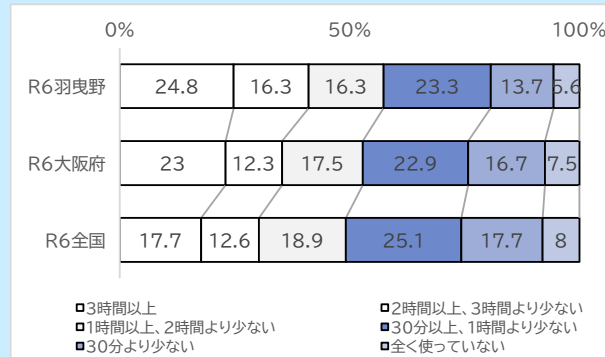
中学校

## ICTの活用時間

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか。(遊びなどの目的に使う時間は除く)



普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。



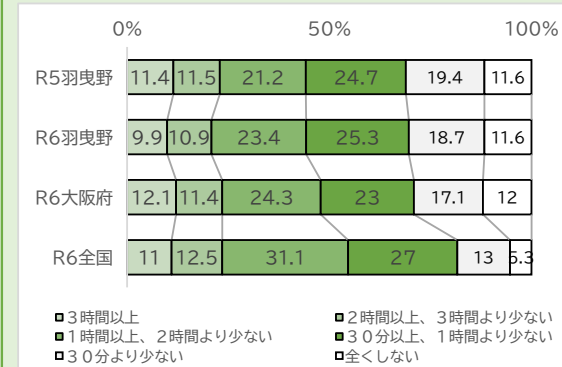
小学校

中学校

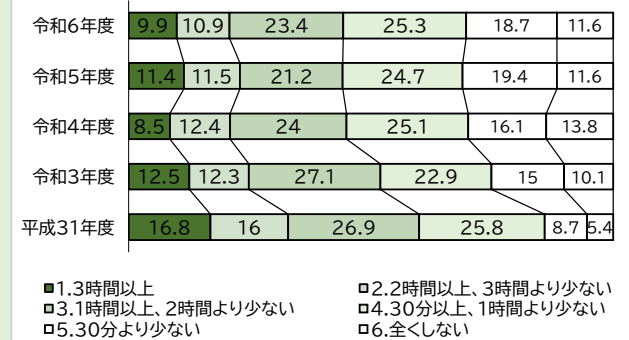
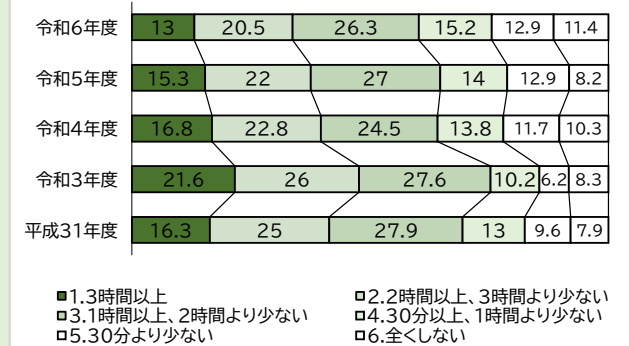
## ～生活習慣・家庭学習習慣・ICTの活用時間～

## 家庭学習習慣

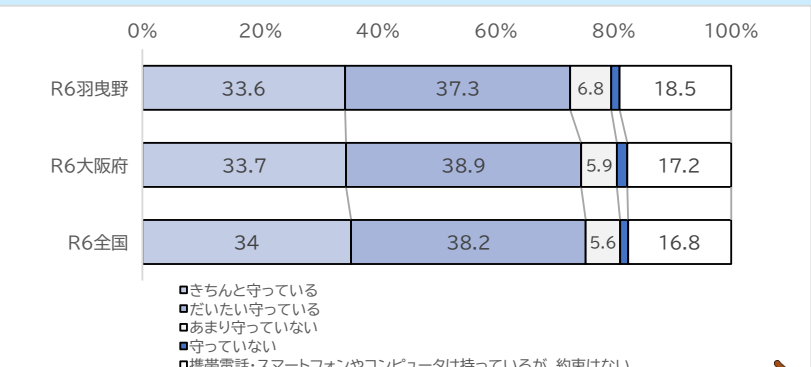
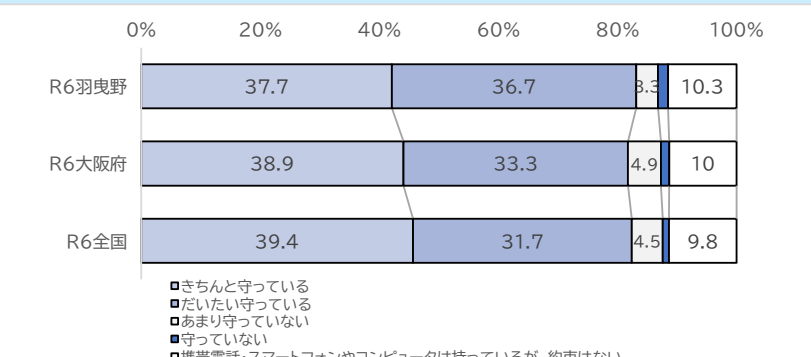
学校の授業時間以外の、普段1日当たりの勉強時間(学習塾家庭教師、ネットを活用して学ぶ時間も含む)



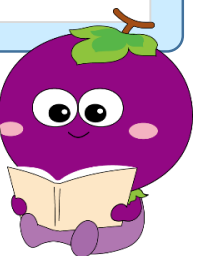
## 過去からの状況～経年比較～



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。



- ・生活習慣が身についている児童生徒ほど、正答率の高い傾向があります。引き続きご家庭における「早寝・早起き・朝ごはん」をよろしくお願いいたします。
  - ・家庭学習の時間では、全国と比較すると、「全くしていない」「30分より少ない」と回答した児童生徒が多くなっています。また、ここ近年で見ると増加傾向が見られます。1時間程度の学習(宿題等を含めた)を目標に少しずつ学習する時間を増やしてみましょう。
  - ・一方で、スマートフォン等でのゲームや動画視聴等の時間が、全国と比較しても長い傾向があります。時間を決めて切り替えることが大切です。ICT機器をお子様に持たせる場合、発達段階に応じたルール作りをお願いします。
- 【参考】羽曳野市教育委員会「学習用タブレット端末を活用して学習をするときの約束」<https://www.city.habikino.lg.jp/material/files/group/58/tabletrulu.pdf>

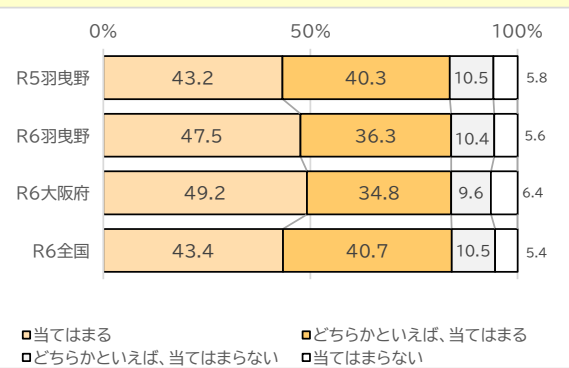


全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙の概況

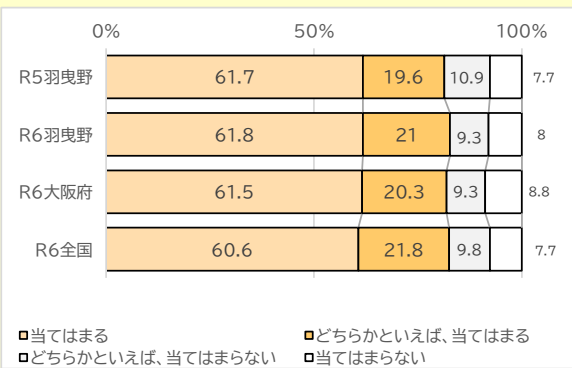
～自己に関すること～

小学校

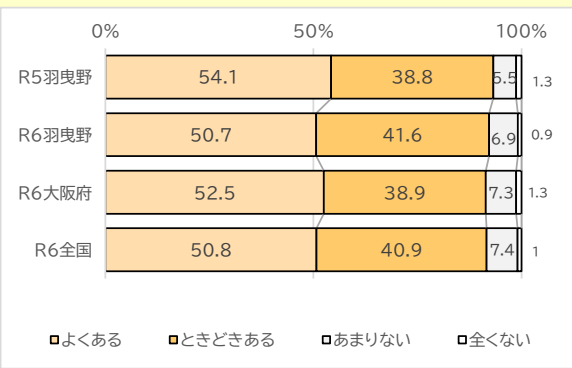
自分によいところがあると思いますか



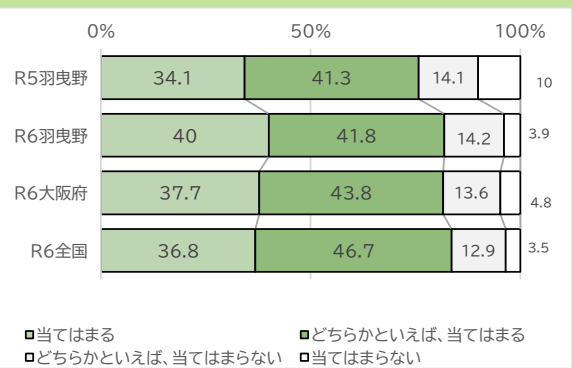
将来の夢や目標を持っていますか。



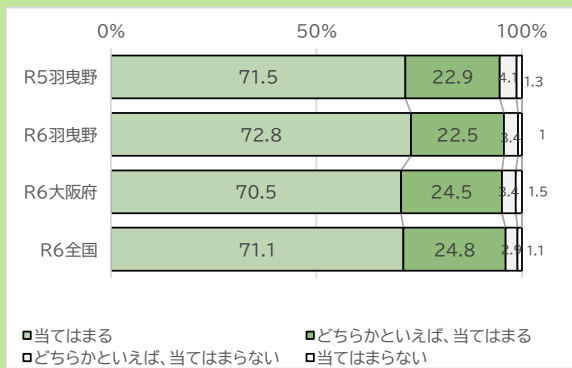
普段の生活の中で、幸せ気持ちになることはどれくらいありますか。



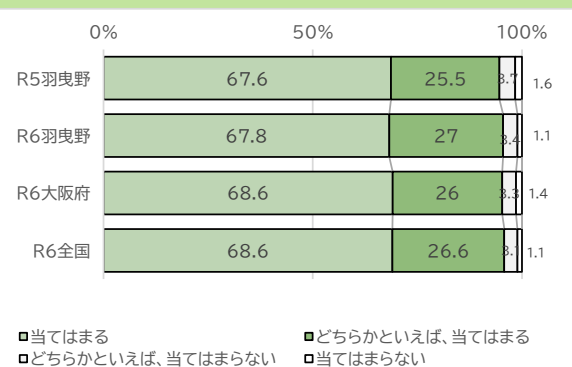
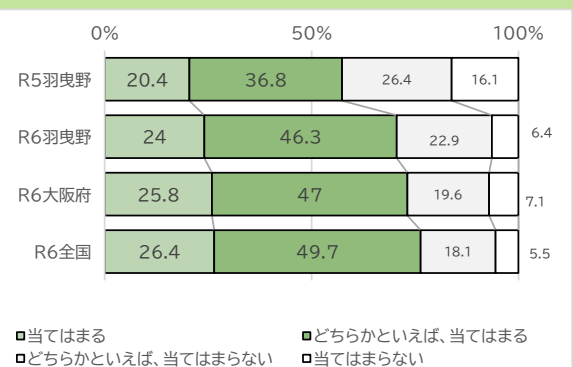
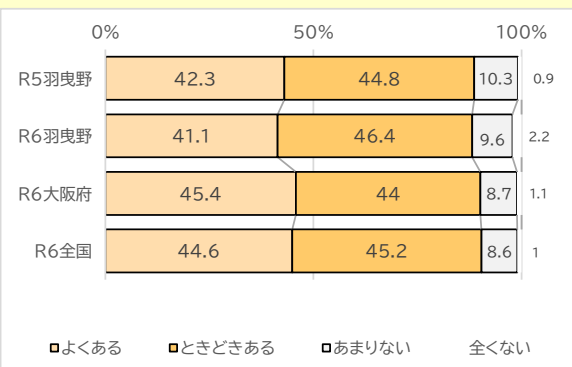
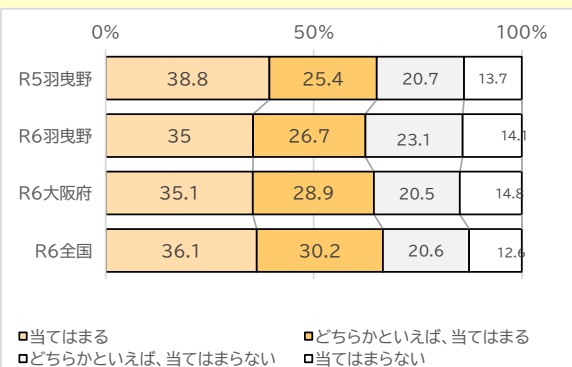
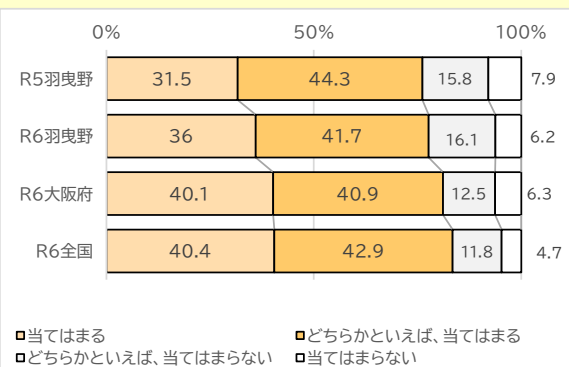
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

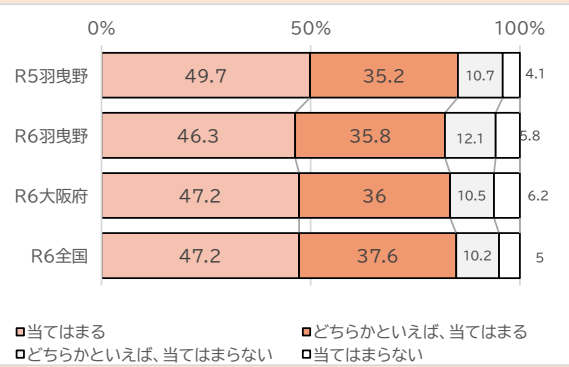


中学校

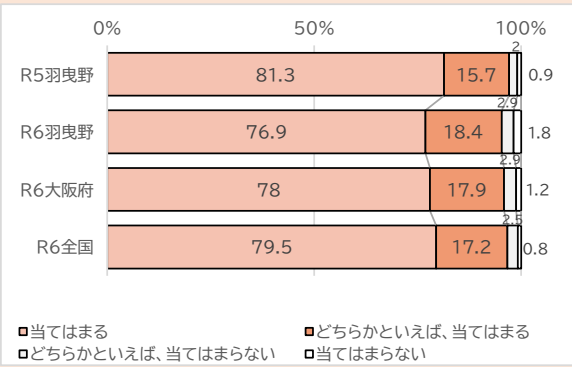


小学校

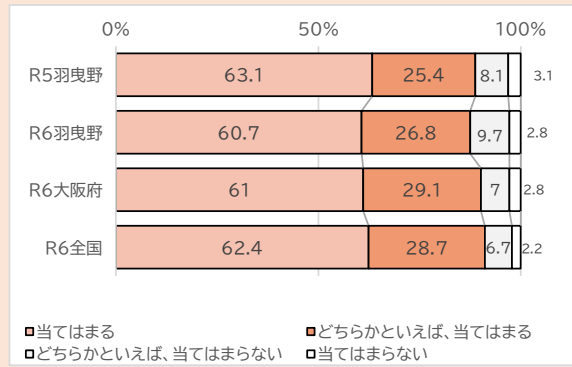
学校に行くのは楽しいと思いますか



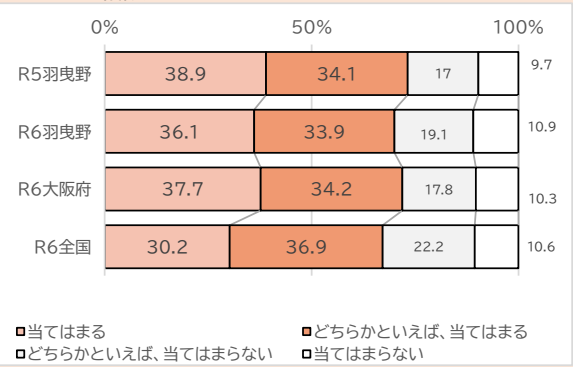
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



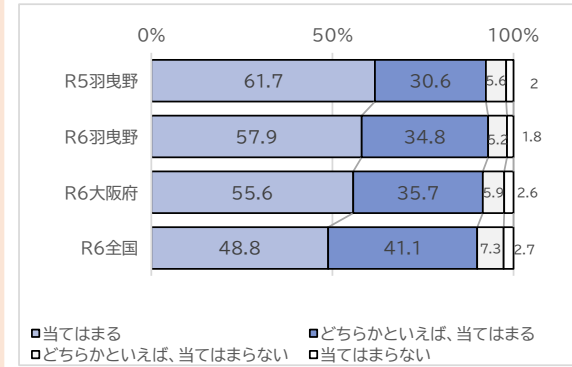
友達関係に満足していますか。



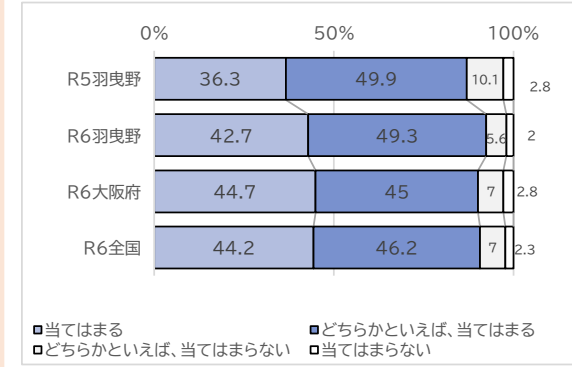
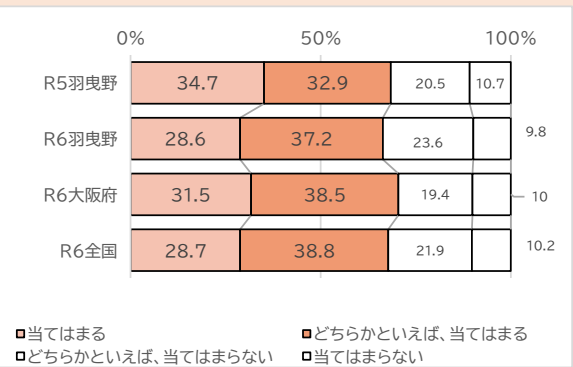
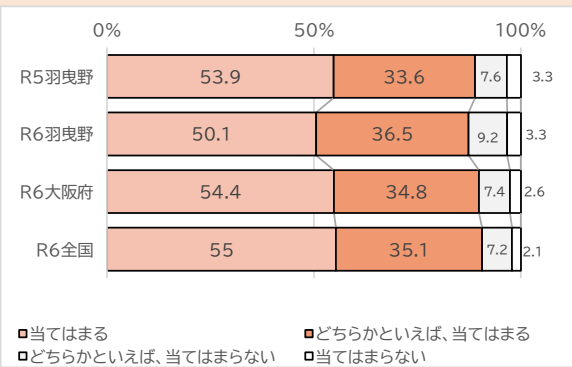
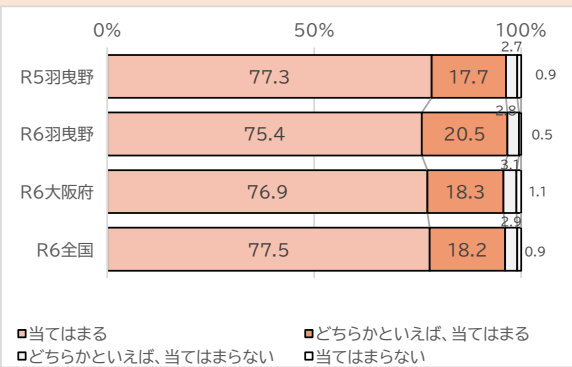
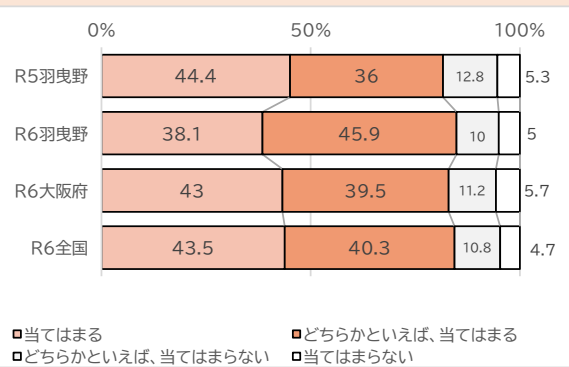
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



中学校



【参考資料】

- 国立教育政策研究所WEBサイト『令和6年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料』 <https://www.nier.go.jp/24chousakekkahoukoku/>
- 大阪府教育庁WEBサイト『全国学力・学習状況調査の結果』 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/zennkoku/index.html>